

## (4) たばこ

### ① 指標の達成状況と評価

策定時*の値と直近値を比較	項目数	目 標 項 目
A 目標値に達した	1項目	・公共施設における分煙対策の促進
B 目標値に達していないが改善傾向にある	6項目	・禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加(男性) ・ぜんそく, 気管支炎, 心臓病, 脳卒中, 歯周病の5項目
C 変わらない	4項目	・禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加(女性) ・肺がん, 胃潰瘍, 妊娠等の3項目
D 悪化している	0項目	
E 評価困難	1項目	・未成年者の喫煙の減少
合 計	12項目	

- 喫煙の健康影響に関する知識の普及については、ぜんそく、気管支炎、心臓病、脳卒中、歯周病については有意に改善したが、肺がん、胃潰瘍、妊娠等については有意な変化はみられなかった。特に認知度が高かった項目は肺がんの 88.1%と妊娠等の 83.3%である。最も低かった項目は胃潰瘍の 36.2%である。
- 未成年者の喫煙の減少については、宮城県内のベースライン及び直近値の把握はできなかったため、評価不能とした。全国の結果では、いずれの調査対象でも、喫煙を行う割合は減少していることから、宮城県内でも同様の傾向があることが予想される。
- 禁煙希望者への支援による非喫煙率の増加については、男性は有意に改善しているが、女性は変化がなかった。
- 公共施設における分煙対策の促進については、平成 23 年度の調査結果では、100%となっており、目標値に達したものとして取り扱った。

### ② 指標に関連した主な施策

- 出前講座（学校、事業所等）
- 防煙教育従事者研修会・禁煙支援者研修会等の実施
- 学校敷地内禁煙の推進
- 公共施設における受動喫煙対策調査

- 地域・職域連携推進事業
- ホームページ・健康情報誌等での啓発普及
- メタボリックシンドローム対策戦略事業（健康づくり推進商店街支援事業・働く人の健康支援事業等）
- みやぎ21健康プラン推進事業，みやぎ健康の日普及事業（ホームページや健康情報誌，各種イベント等による普及啓発）

### ③ 今後の課題

- 公共施設における分煙については，目標の100%に達したが，今後は屋内禁煙に取り組む施設を100%にしていくような取組みと併せて，家庭等においても適切な受動喫煙対策が進むよう，啓発普及などを図る他，職域保健等での受動喫煙対策の取組みも必要である。
- 喫煙の健康影響に関する知識は概ね改善しているが，目標の100%まで大きな乖離のあるものがいくつかあり，特に胃潰瘍については，平成12年度からほとんど変化がないため，防煙教育の場等でも，特に力を入れて普及啓発をしていく必要がある。また，内科等医療機関等での普及啓発なども効果的と思われる。
- 非喫煙率については，男性のみ改善したが，たばこをやめたいと思う者の割合は，男性41.0%，女性で49.6%とそれぞれ約半数が禁煙を希望しているため，禁煙希望者を確実に禁煙につなげるよう，禁煙支援医療機関に関する情報提供を引き続き実施することや健診の場等で，禁煙の動機付けを行う等のサポート体制に取り組んでいけるよう，禁煙支援従事者の育成等についても，実施していく必要がある。
- 未成年者の喫煙を減らす目標については，防煙教育などに重点的には取り組んできたものの，宮城県のベースライン値及び現況値の把握が行えず，評価が行えなかった。未成年者対象の調査が困難であったこと等がその理由であるが，目標を設定する際には，評価が確実にできるものについてのみ指標として設定すべきである。